

Design シンポジウム 2016 講演募集

会期：2016年12月13日（火）～15日（木）〔13日（火）は午後のみ〕

会場：大阪大学 銀杏会館（大阪府吹田市山田丘2-2）

共催：日本機械学会（幹事学会）、精密工学会、日本設計工学会、日本建築学会、日本デザイン学会、人工知能学会、大阪大学大学院工学研究科

協賛：The Design Society、横断型基幹科学技術研究団体連合、International Association of Societies of Design Research（予定）

趣旨：

現在、人々の生活、社会、産業、環境を取り巻く課題は高度化・複合化しており、縦割りの専門分野ごとのアプローチでは対応が困難となっています。そのため、複数の専門分野が横断的に連携し、課題の分析（analysis）に加えて、課題を解決する新たなモノやコトの総合（synthesis）を行なう設計やデザインの研究や教育、実践が非常に重要となっています。

以上の背景から、日本機械学会、精密工学会、日本設計工学会、日本建築学会、日本デザイン学会の5学会は、「設計」や「デザイン」を包含する上位概念としての“design”を対象としたシンポジウムを2004年7月に開催、その後、人工知能学会を加えた6学会共催による隔年のDesign シンポジウムを、多様な参加者による活発な議論の場として継続的に開催してきました。一連の経緯のもと、この度、“design”に関して分野横断的、学術的、実践的に取り組む場として、一般講演、特別講演、パネルディスカッションからなるDesign シンポジウム2016の開催を企画いたしました。様々な分野の研究者、設計者、デザイナー、技術者、学生など、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

一般講演募集：

発表形式は口頭発表を基本とします。一般講演の採否、プログラム編成はDesign シンポジウム2016運営委員会にご一任下さい。

一般講演申込方法：

申込は日本機械学会ホームページ（<http://www.jsme.or.jp/conference/ds2016/>）で受け付けます。申込にあたっては、(i) 題目、(ii) 登壇者（*印）・連名者の氏名、共催学会員の方は学会名・会員資格、(iii) 所属機関名・所在地、(iv) 連絡先氏名・住所・電話番号・FAX番号・電子メールアドレス、(v) 講演内容に該当するキーワード（表1の(a)～(f)中の1～2個、および、表2の(1)～(29)中の1～2個）と、A4判で2頁以上（図表等含む）の発表概要のPDFファイルをあらかじめ用意して下さい。

表1 一般講演のキーワード（枠組み）

項目	説明
(a) Design 理論	Design 理論は、Design 行為におけるさまざまな現象を説明可能な法則やモデルである。Design 理論は、Design 上の目的を持たず、純粋に Design 行為に関わる。例えば、数学を用いて Design 行為を表現した一般設計学に関する研究、認知科学や心理学等に基づく Design についての理解や分析などがこれにあたる。
(b) Design 方法論	Design 方法論は、Design 方法の特徴分析やそれに基づく Design 方法の選択指針の構築など、複数の Design 方法の関係性に着目し、それらを体系的に扱うものである。例えば、デザイン問題の特徴に基づく最適デザイン法の使い分けに関する研究などがこれにあたる。
(c) Design 方法	Design 方法は、Design 上の目的を達成するためのさまざまな方法のことである。例えば、デザインに用いられる各種の発想法や分析法、パターンランゲージのような Design プロセスに注目する方法、デザインにおける解を表現したり記述したり、あるいは、生成したり探索したりするための計算に基づく方法などがこれにあたる。
(d) Design 実践	Design 実務は、プロダクトデザイン、建築デザイン、工学設計など、多様なデザイン分野における具体的な実践である。例えば、製品開発事例やデザイン作品に関する記録や報告などがこれにあたる。
(e) Design 知識	Design 知識は、Design 行為に用いられる（関与する）知識である。例えば、Design 実務に関する知識のデータベース、それらのマネジメント・技術伝承に関する考え方、知識に関する情報処理技術などがこれにあたる。
(f) その他	（上述した）Design 行為に関与しないさまざまな知識である。例えば、Design 教育、Design 史、Design と他分野・他領域（社会、政策、文化、歴史、哲学、価値・評価など）の関わりに関する知識などがこれにあたる。

表2 一般講演のキーワード (design の対象)

(1) 製品設計・製品開発	(16) 空間デザイン
(2) システムデザイン	(17) 建築デザイン
(3) 感性デザイン	(18) 都市・ランドスケープデザイン
(4) サービスデザイン	(19) ライフサイクルデザイン
(5) プロダクトデザイン	(20) セキュリティデザイン
(6) マテリアルデザイン	(21) ユニバーサルデザイン
(7) ファッションデザイン	(22) エルゴノミクスデザイン
(8) グラフィックデザイン	(23) ユーザビリティデザイン
(9) 情報デザイン	(24) 仕掛けデザイン
(10) メディアデザイン	(25) エコデザイン
(11) コミュニケーションデザイン	(26) 設計場・設計環境のデザイン
(12) ソーシャルデザイン	(27) 設計組織・設計主体のデザイン
(13) コミュニティデザイン	(28) 学びと教育のデザイン
(14) ワークプレイスデザイン	(29) その他
(15) インターフェースデザイン	

申込期限：2016年7月11日（月）

採否通知：

Design シンポジウム 2016 運営委員会にて申込内容を審査のうえ、2016年8月22日(月) 頃に通知いたします。

最終原稿：

採択された一般講演は、Design シンポジウム 2016 運営委員会の指定した書式に従い、原則として A4 判 4 枚（ただし最大 8 枚まで可能）の最終原稿を PDF でご提出いただきます。

最終原稿提出期限：2016年10月18日（火）

参加登録費：

一般	共催・協賛学会員		12,000 円	論文集 1 部含む
	非会員		15,000 円	
学生	登壇者	共催・協賛学会員	6,000 円	
		非会員	15,000 円	
	聴講のみ		無料	論文集なし

なお、懇親会を開催する予定です。懇親会参加費は、参加登録者（聴講のみの学生は除く）は無料の予定です。

Web ページ：

シンポジウムの詳細は日本機械学会ホームページ (<http://www.jsme.or.jp/conference/ds2016/>) 上に掲載しますのでご覧下さい。

問合せ先：

藤田喜久雄 (Design シンポジウム 2016 運営委員会委員長)

大阪大学 大学院工学研究科 機械工学専攻

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1

E-mail: ds2016@syd.mech.eng.osaka-u.ac.jp

Tel: 06-6879-7323 Fax: 06-6879-7325